

一般会計歳出144億6,122万円

国保赤字補填に3.8億円

平成30年度決算

会計	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計	151億5896万円	144億6122万円	6億9774万円
特別会計	国民健康保険	42億9776万円	▲4億9411万円
	後期高齢者医療	2億9877万円	242万円
	下水道事業	6億8817万円	480万円
	土地区画整理事業	8億1356万円	1847万円
	農業集落排水事業	2369万円	274万円
	小計	61億2195万円	▲4億6568万円
全会計合計	212億8091万円	210億4885万円	2億3206万円

決算の概要 課題は国保の累積赤字

本町の財政が抱える最も大きな課題は、平成20年度から続く国民健康保険特別会計の赤字決算です。一般会計を含む全会計に影響を与えてきました。平成30年度には国保事業の県単位化が図られ、累積赤字の計画的な解消のため、平成29年度には10億円さらに平成30年度には3億8700万円を一般会計から補填しました。しかし、医療費の伸びがそれを上回り赤字を生んでいます。国保事業の累積赤字解消だけではなく健全化が図られるよう引き続き注視します。

監査委員の意見

代表監査委員 稲 福 清
 議会選出監査委員 宮 城 清 政
 * 審査期間7月1日～8月20日

【適切な事務処理を】

入札事務で落札者の錯誤があった。業務のチェック体制の強化や事務指導体制の充実に努めること

【一括交付金の効果的な事業完了を】

一括交付金は、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了すること

【国民健康保険医療費の軽減を】

国民健康保険特別会計は、保険給付費の抑制に努め、引き続き前期高齢者交付金制度の是正を国に強く要望すること

このような事業が行われました

こども医療費の窓口無料化

こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、子どもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立ちました。

1億8,418万円
(助成額)

地域ブランドのPR

町内事業者へ商品開発を行う際の考え方やマーケティングに関する講習会を開催しました。8品を特産品の証である「はえばる良品」に認定しました。

1,499万円

南風原小・津嘉山小の増築

南風原小学校、津嘉山小学校の児童数の増加により普通教室を増築しました。

1億6,778万円

津嘉山北区画整理事業

国道507号津嘉山バイパスを最優先とし物件補償や造成工事を行いました。

7億9,509万円